

令和6年度 第3回（仮称）浜益学園設立準備部会 議事録

日 時 令和6年10月11日（金）18時00分～

場 所 浜益コミュニティセンターきらり

出欠状況

	氏名	出席	欠席	所属団体等
部会長	川村 佳広	○		浜益区集落支援員
副部会長	渡邊 隆之		○	浜益区地域協議会会長
	渡邊 善仁	○		浜益小学校 P T A会長
	船橋 秀樹	○		浜益中学校 P T A会長
	鳴海 知佳	○		はまます保育園 父母の会会長
	木村 武彦	○		学校支援推進員
	宮田 勉	○		浜益自治会会長
	鬼塚 建次	○		浜益小学校校長
	高橋 真吾	○		浜益小学校教頭
	細田 幸男	○		浜益中学校校長
	久富 綾一	○		浜益中学校教頭
	伊藤 英司		○	はまます保育園園長

事務局

学校教育部 部 長 中西 章司
学校教育部 次 長 澤口 敏之
総務企画課 課 長 笠井 剛
主任 波 京平
学校教育課 課 長 森本 栄樹
浜益学校教育課 課 長 柿崎 恵一

傍聴者 0名

1 校名の決定について

① 校名の決定について

校名アンケートの集計結果について、笠井課長より説明。

- ・総回答 115 件、「石狩市立浜益学園」が得票数 69 票で最多回答となった。
- ・115 件のうち自由記載による回答は 10 件あり、「はまます学園」が 2 件あるため 10 件 9 種の回答があった。
- ・本日の部会で校名について決定したい。

質 問 ・ 意 見

【渡邊（善）部会員】

アンケート結果から明らかに圧倒的多数であるため、校名は「浜益学園」とするのが良いのではないかと。

【川村部会長】

自由記載で新たにいただいた校名もございますが、115票のうち69票、得票率6割という結果をみても、校名を「石狩市立 浜益学園」で決定することでいかがかと。

<全会一致で承認>

2 校章・校歌の募集・決定方法について

① 校章の募集・決定方法について

前回の会議から引き続き、校章の募集・決定方法について、笠井課長より説明。

- ・前回の議論では、大きく分けて「中学校へ作成依頼をする」と「広く募集をする」という2つの案が挙げられた。
- ・「中学校へ作成依頼する」では、小学生が関わる時間を確保することが困難、中学3年生は受験を控えている、関わる大人の時間の確保などの問題がある。
- ・「広く募集する」では、「区外からも広く募集」した場合は、募集から審査・決定までのスケジュールがタイトであり、著作権等の権利確認に時間を要することが懸念として挙がっており、場合によっては、児童生徒による投票などを経て部会で決定する必要がある。「区内から募集」では、デザインの仕上げをする方が、作成初期からデザインに関わっていないと作業が困難になることと、区外と同様に、児童生徒による投票、部会で決定などのプロセスが生じると思われる。
- ・事務局としては、前回同様、校章の募集・決定方法は中学校へ作成依頼をすることで提案させていただきたい。前回の部会で挙がっていたデザインの作成補助、仕上げは地域に縁のある方に関わっていただこうと考えており、石井先生と柿岡さんにご協力を頂戴できればと考えている。また、テーマの設定については現在の浜益小学校、浜益中学校の校章の融合を提案させていただきたい。

質 問 ・ 意 見

【川村部会長】

改めての確認になりますが、小学校ではカリキュラム的にも関わるのは難しいということでしょうか。

<小学校合意>

【川村部会長】

デザインに関わる大人の名前として、石井先生と柿岡さんの名前が出ていましたが、ご意見等ございますか。

【久富教頭】

本日の職員会議にて、校章の作成方法、進め方については部会の判断に従うということで確認が取れている。

【船橋部会員】

事務局からも提案がありましたが、デザインに関わる大人の方としては、柿岡さんを推薦したい。

【川村部会長】

前回の部会から中学生に経験させたいという声も多かったように思います。誰もが経験できることではないことです。皆様の総意として、事務局の提案で進めることでいかがでしょうか。また、校章の作成テーマについても現在の浜益小学校、浜益中学校の校章の融合という事務局の提案で進めることでいかがでしょうか。

<全会一致で了承>

② 校歌の募集・決定方法について

校歌の募集・決定方法について、笠井課長より説明。

- ・前回の部会の「案3」で提案していた小中両方の校歌を残す方法ですが、伊達市の大滝徳舜瞥（とくしゅんべつ）学校も現在、新たな校歌を制定していることが分かり、あらためて小学校・中学校と協議した結果、やはり運用が難しいという判断に至り、事務局の提案から取り下げることにした。
- ・よって、事務局からの提案は、案1の吉弘先生への依頼と、案2の部会メンバーなどの伝手で、浜益に縁のある方を探して依頼をする。この2点のうちいずれかで進めることができればと考えている。

質 問 ・ 意 見

【宮田部会員】

浜益小学校に長年にわたり勤務されて、浜益の歴史、文化にも詳しい吉弘先生に依頼してはどうか。

【川村部会長】

校歌の募集・決定方法については、浜益小学校 吉弘先生に依頼するという事によろし

いでしょうか。

<全会一致で了承>

3 その他

閉校式・開校式の準備の進め方について、笠井課長より報告（口頭）。

- ・校名が決定し、校章・校歌についてもそれぞれ作成に向けて執り進めていく方法が固まった。設立準備部会の設置要項で謳う「検討協議する事項」で、残っている事項としては、「既存校の閉校に係る支援に関する事」、「その他開校に向けて必要な事項に関する事」となっている。
- ・厚田学園では、小学校3校、中学校2校の統合でそれぞれ閉校式を執り行っており、実施内容もそれぞれの学校で検討・実施されていた。開校については、現在市教委が主体となって諸準備を進めていこうと考えているが、閉校式について今後どのように進めていくか検討する時期になった。
- ・設立準備委員会という名称も厚田学園校名決定後から開校準備委員会と名称を改めて、閉校式の後方支援を行っていた模様。
- ・今この場で結論を求めるものではないが、浜益での閉校式の進め方として、厚田と同じように学校が主体となって進める方法のほか、当時とは違い、学校運営協議会（CS）が組織され、さらには小学校、中学校が一つ屋根の下で共同生活を送っている環境もある。
- ・市では、来年度予算の編成に向けた作業が今月より本格化していくことから、この閉校式に係る諸経費を市教委で要求していくためにも、どのように閉校式の準備を進めていったらよいかイメージしていただきたい。

質 問 ・ 意 見

【川村部会長】

本部会の名称についてですが、事務局提案のとおり「浜益学園開校準備部会」と改称することよろしいでしょうか。

<全会一致で了承>

【久富教頭】

事務局からは閉校式に関わって CS を機能させてはどうかという案が出ているところですが、浜益は高校も含め、色々な学校の統廃合を経験しています。そういった地域の声を反映し、より多く人たちが参加しやすい時期、参加できる閉校式にするためにも地域の方にも積極的に関わってもらうのがよいと個人的には考える。

【鬼塚校長】

閉校式・開校式の役割分担のイメージについて共有したい。自身の経験では閉校・開校に関するセレモニーは、①閉校記念式典、②閉校記念のつどい、③閉校式というようにそれぞれが3ステップで行なっていた。例えば、閉校式は学校旗の返還が催しとして行われ、開校式では学校旗の授与が行われる。閉校と開校が対になるようなセレモニーを企画する場合、閉校と開校にそれぞれ関わっていくほうが効果的と考える。閉校式が学校主体で、開校式が市教委主体でというのは、それぞれ3ステップのどのスキームについて担当するイメージか。

【笠井課長】

本日は事務局からの提案というよりは、閉校式に向けてどういう進め方があるだろうかということも含め、本部会の協議事項の一つである閉校式について情報共有させてもらったところ。今、固まった案は持ち合わせていないため、引き続き学校と市教委とで進め方の協議、相談させてもらう。

【鬼塚校長】

閉校式の方は、閉校記念式典も行うと考えた場合、スケジュール的に猶予がないと考えている。閉校記念式典を実施するかどうかというような内容の話やスケジュールの話を詰めていかななくてはならないため、早めに動いていった方がよいと考える。

【高橋教頭】

先日のPTA会議で来年度よりPTAを浜益小中学校PTA、R8年度から浜益学園PTAと名称変更、組織合併することで協議済みであることこの場を借りて報告する。

【鬼塚校長】

校名が今回の部会で決定ということだが、これから様々な準備を進める際に部会外で学校名を公表できるのはいつからになるのか。前回の部会開催時には、道新の記者の方も校名の決定について気にしていたようだった。

【中西部長】

内部協議としては今回の部会で決まったこととなるが、正式な決定となるのは市議会の議決を経てからとなる。開校の準備に向け、周囲の方に依頼、相談する際に校名を伝える、掲載する機会があるかと思うが議決を経て正式決定となる旨を含んでもらいたい。また、近日中に部会で校名が決定したことを各議員や報道機関にリリースするので、それを契機に公表することをお願いしたい。